**平成28年度**

**当初予算の概要**

**一般会計・特別会計・企業会計**

**原　村**

**〔付　属　資　料〕**

**１　会計別予算規模**

**２　一般会計歳入予算**

**３　一般会計歳出予算（科目別）**

**４　一般会計歳出予算（性質別）**

**５　科目別主要事業（一般会計）**

**６　基金見込**

**７　村債残高見込**

**平成28年度当初予算(案)の概要**

**Ⅰ　編成にあたっての基本的方針**

国は少子高齢・人口減少社会への対応や地方の創生、財政の早期健全化、防災・減災対策の強化、社会資本の老朽化への対応など、多くの課題を抱えており、これらに適切に対応していかなければならない状況にあります。

本村においても、子育て支援のさらなる充実や高齢化社会に向けた社会保障などの扶助費の増加は避けられない状況で、道路や橋梁の長寿命化に向けた改良・改修事業及び農道改良事業、樅の木荘新築建て替え工事、社会体育館耐震化及び改修工事といった大型事業が集中しており、多額の財源投入が見込まれます。

平成28年度は、第５次原村総合計画の初年度となり、原村地域創生総合戦略に基づいて地方創生への取り組みを進める重要な年でもあります。こうしたことから、国の経済財政運営の動向を注視し、特に地方創生に向けて新たに創設される新型交付金などについては情報収集に努め、適時適切に対応するとともに、住民ニーズを的確に把握した上で、全ての事務事業をその根幹にまで遡り目的や成果、解決すべき課題などを踏まえて予算編成に取り組みました。

**重点目標**

**１．地域産業を育て、活力と豊かさを創造する**

**２．若者が活躍し、安心して子育てのできる環境を創造する**

**３．豊かな自然や地域資源を育み、人々が交流できる地域を創造する**

**４．村民が集い、村民の輪が広がる活力にみちた地域力を創造する**

**Ⅱ　一般会計予算の概要**

**１　予算規模**

 平成28年度の一般会計歳入歳出予算総額は 43億9,300万円で、前年度当初予算額に比べ 7,300万円（1.7％）の増としました。

この主な要因は、社会体育館耐震化等改修工事1億7,242万円、温泉引湯管布設替え工事9,000万円、村道2007号線(エコーライン)オーバーレイ工事7,800万円、中央道跨道橋改修工事委託5,000万円、中央公民館改修工事6,020万円など公共施設等改修のための経費の増によります。

**２　歳入の状況**

**（1）村税**7億4,111万4千円　前年度比501万7千円(0.7％)増

固定資産税が新築家屋や償却資産により200万円(0.6％)の増加、軽自動車税は税率の改正により600万円(26.1％)の増、個人村民税、法人村民税、入湯税は前年並み、たばこ税は200万円(8.0％)の減少です。

**（2）地方交付税**14億6,000万円　前年度同額

国は地方税の増収を見込んでいますが、地方交付税は昨年とほぼ同額の16兆7,003億円を確保しています。本村も普通交付税13億8千万円、特別交付税8千万円と昨年と同額を見込みました。普通交付税と臨時財政対策債1億3,500万円の合計は15億1,500万円となり2,500万円(1.6％)の減です。

**（3）地方譲与税・特例交付金等**　2億1,000万円　前年度比30万円(0.2％)減

地方消費税交付金は一般財源分6,300万円、社会保障財源分5,200万円を見込みました。社会保障財源分は全額社会保障施策の人件費以外の経費に充当します。

**（4）国庫支出金**3億4,327万3千円　前年度比1億400万8千円(43.5％)増

年金生活者等臨時福祉給付金2,700万円増、国保基盤安定負担金597万円増、障害者自立支援給付金475万円増、社会資本整備総合交付金8,385万円増、社会保障・税番号制度システム改修事業492万円減、臨時福祉給付金・子育て世帯に対する特例給付金事業642万円減です。

**（5）県支出金**2億3,944万2千円　前年度比3,991万5千円(14.3％)減

国保基盤安定負担金526万円増、元気づくり支援金318万円増、日本型直接支払

制度292万円増、グリーンニューディール基金事業(太陽光一体型LED外灯設置事業)

2,476万円減、農業基盤整備促進事業1,530万円減など。

**（6）繰入金**5億6,768万9千円　前年度比7,735万円(12.0％)減

内訳は財政調整基金5億1,700万円、減債基金5,000万円、奨学基金68万9千円。

**（7）村債**　　3億5,890万円　前年度比9,250万円(34.7％)増

 　内訳は緊急防災・減債事業債590万円、公共事業等債8,250万円、防災対策事業債

1億2,810万円、防災基盤整備事業債740万円、臨時財政対策債1億3,500万円。

**３　歳出の状況**

科目別の状況は次のとおりです。

**（1）議会費**　　6,547万1千円、前年度比563万4千円(7.9％)減

　　議員共済組合等負担金991万円(539万円減)

**（2）総務費**5億5,915万3千円　前年度比2,836万2千円(4.8％)減

移住促進事業414万円(新規事業)、地域おこし協力隊237万円(新規事業)、美しい村連合事業439万円(283万円増)、有線放送特別会計繰出金835万円(1,735万円減)、住民行政システム・地域イントラ運営費3,292万円(1,060万円減)、公共施設等総合管理計画策定(500万円皆減)

**（3）民生費**11億5,522万4千円　前年度比801万3千円(0.7％)増

障害者総合支援法関係費1億4,064万円(848万円増)、国保特別会計繰出し金9,037

万円(1,437万円増)、年金生活者等支援臨時福祉給付金2,700万円(新規事業)、地

域福祉センター駐車場整備1,287万円(新規事業)、広域連合介護保険負担金1億474

万円(321万円増)、地域包括支援センター委託事業717万円(397万円増)、臨時福祉

給付金780万円(630万円減)、地域活動支援センター改修82万円(1,942万円減)、

老人医療給付金1億600万円(400万円減)、保育園改修工事(2,143万円皆減)

**（4）衛生費**　　3億884万8千円　前年度比3億6万8千円(49.3％)減

保健センター管理558万円(540万円増)、諏訪南行政事務組合(ごみ処理)負担金

4,973万円(347万円増)、保健センター建設事業(2億7,940万円皆減)、高原病院建設事業補助金(1,000万円皆減)、南諏衛生施設組合負担金6,201万円(847万円減)

**（5）農林業費**2億4,893万１千円　前年度比4,481万9千円(15.3％)減

農業の再生を考える会9万円(新規事業)、就農支援事業454万円(新規事業)、県営農村災害対策整備事業630万円(新規事業)、多面的機能支払交付金5,319万円(394万円増)、土地改良施設維持管理適正化事業81万円(860万円減)、農業基盤整備促進事業

1,500万円(3,000万円減)、効果促進事業(570万円皆減)、

**（6）商工費**　　3億8,390万円　前年度比9,055万8千円(30.9％)増

八ヶ岳観光圏事業903万円(671万円増)、温泉引湯管布設替え工事9,000万円(新規事業)、温泉源泉揚湯ポンプ購入463万円(皆増)、八ヶ岳自然文化園管理委託3,483万円(500万円増)、商工会御柱観光事業補助金110万円(新規事業)、震災雇用対応事業

(500万円皆減)

**（7）土木費**5億6,748万5千円　前年度比9,693万3千円(20.6％)増

道路除融雪事業1,777万円（132万円増）、村単道路改良事業1,934万円（851万円増）、

社会資本整備総合交付金による道路改良事業1億9,000万円(8,600万円増)、道路維持

費4,198万円(1,278万円増)、河川整備受託事業(1,000万円皆減)、下水道事業特別

会計負担金・補助金2億3,600万円(200万円減）

**（8）消防費**1億7,605万3千円　前年度比1,972万2千円(10.1％)減

南三陸町災害時応援協定10万円(新規事業)、小型動力ポンプ付積載車購入850万円

(新規事業)、県衛星系防災行政無線設備更新事業856万円(新規事業)、諏訪広域連

合負担金1億3,014万円(811万円増)、消防団員退職報奨金79万円(802万円減)、消防

団員活動服等購入124万円(433万円減)、防災ガイドブック作成(575万円皆減)、防

災拠点太陽光一体型LED外灯設置工事(2,476万円皆減)

**（9）教育費**　6億4,234万4千円　前年度比2億6,401万5千円(69.8％)増

学校給食費補助130万円(新規事業)、小学校外国語指導事業680万円(新規事業)、

小学校プールサイド遮熱ゴムチップ舗装工事700万円(410万円増)、中学校校庭整備

事業1,080万円(皆増)、中央公民館改修工事6,020万円(5,804万円増)、八ヶ岳美術

館管理委託1,433万円(250万円増)、八ヶ岳美術館窓等改修工事928万円(新規事業)、

社会体育館耐震化等改修工事1億7､242万円(1億6,909万円増)、

**（10）公債費**2億8,196万7千円　前年度比1,216万6千円(4.5％)増

償還元金2億6,234万円(1,475万円増)、償還利子1,959万円(262万円減)

**（11）諸支出金**　　162万1千円　前年度比162万(新規)増

　　上水道事業｢経営戦略｣策定経費繰出金162万円

性質別の状況は次のとおりです。

維持補修費は道路維持費や学校等の公共施設補修等が増えてきたため3,228万円(99.7％)の大幅な増、普通建設事業は社会体育館耐震等改修工事、温泉引湯管布設替え等大型事業が続き2,901万円(4.2％)の増、公債費は利率低下により利息額は減少しているものの1,217万円(4.5%)の増、積立金は基金利息等の減少により361万円(17.0%)の減、貸付金は、勤労者生活資金の利用が少ないため預託金を減額した。

**４　平成28年度の重点目標**

　予算編成方針の重点目標に基づいて、下記の事業を実施します。

　１．地域産業を育て、活力と豊かさを創造する

・〔新規〕地域おこし協力隊事業　　　　　　　　　　　237万円

　　・〔新規〕農業の再生を考える会　　　　　　　　　　　 9万円

　　・〔新規〕JA信州諏訪農業祭補助金　　　　　　　　　　 10万円

・〔新規〕就農支援事業　　　　　　　　　　　　　　　454万円

・〔新規〕農産物ブランド化事業　　　　　　　　　　　145万円

・〔新規〕県営農村災害対策整備事業　　　　　　 　　 630万円

・〔新規〕商工会創業支援事業補助金　　　　　　　　　 15万円

・〔新規〕人材確保事業　　　　　　　　　　　　　　　 90万円

・〔新規〕外国人誘客事業　　　　　　　　　　　　　　193万円

・八ヶ岳観光圏事業　　　　　　　　　　　　　　　　　903万円

２．若者が活躍し、安心して子育てのできる環境を創造する

・若者定住促進事業(平成32年度まで延長)　　　　　　 1,200万円

・子育て支援特別事業　　　　　　　　　　　　　　　 4,198万円

・海外ホームステイ・交流事業　　　　　　　　　　　　 367万円

・小・中学校心の相談、教育支援等臨時職員　　　　　 2,044万円

・学童クラブ、放課後子ども事業　　　　　　　　　　 1,601万円

　３．豊かな自然や地域資源を育み、人々が交流できる地域を創造する

　　・〔新規〕移住促進事業　　　　　　　　　　　　　　 　414万円

　　・〔新規〕特定外来植物駆除事業　　　　　　　　　　　　13万円

　　・〔新規〕森のエネルギー推進事業　　　　　　　　　　　20万円

・美しい村連合事業　　　　　　　　　　　　　　　　　 439万円

　　・森林環境保全直接支援事業(間伐事業)　　　　　　　 　418万円

　４．村民が集い、村民の輪が広がる活力にみちた地域力を創造する

・〔新規〕社会福祉協議会人材育成事業補助金　　　　　 200万円

・〔新規〕地域福祉センター駐車場整備事業　　　　　 1,287万円

　　・〔新規〕温泉引湯管布設替え工事　　　　　　　 　　9,000万円

　　・村づくり推進事業　　　　　　　　　　　　　　　　　 700万円

・公共交通推進事業　　　　　　　　　　　　　　　　 1,505万円

・樅の木荘建設委員会　　　　　　　　　　　　 　　　　 24万円

　　・中央公民館改修工事　　　　　　　　　　　　　　　 6,020万円

　　・社会体育館耐震化等改修工事業　　　　　　　　　1億7,242万円

　◎地方創生交付金事業

　交付要綱等明確になっていないため、原村地域創生総合戦略に基づいて、移住促進・

産業振興事業を6,500万円程度想定しています。

◎八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン事業

　　八ヶ岳観光圏事業853万円、文化事業20万円、文化財保護・活用事業44万円、

婚活事業10万円、主要道路整備事業700万円

**Ⅲ　特別会計・企業会計予算の概要**

**１　国民健康保険事業勘定特別会計**

歳入歳出予算の総額は、医療費の増加が見込まれ前年度比5,000万円(4.2％)増の12億2,700万円としました。

歳入は、平成28年度は国民健康保険に係る限度額の引き上げなどの税制改正が予定されています。しかし被保険者数の減等により税額は785万円(2.8％)減の2億7,093万円を見込みとなりました。他の財源は国庫支出金2億5,241万円、前期高齢者交付金2億3,929万円、一般会計繰入金9,037万円を計上しました。

歳出は、保険給付費を3,995万円(6.0％)増の7億537万円とし、後期高齢者支援金に1億4,785万円、共同事業拠出金2億6,441万円、介護納付金に6,374万円、特定健診・特定保健指導等や保健予防事業の推進を図るための保健事業費に1,465万円を計上しました。

**２　国民健康保険直営診療施設勘定特別会計**

歳入歳出予算の総額は、前年度比700万円(7.7%)増の9,800万円としました。

歳入は、幅広い年齢層のかかりつけ医として安定した収入が見込まれ、診療収入は前年度より117万円多い7,987万円(1.5％増)を見込みました。

歳出は、電子カルテのライセンス終了に伴い新システム導入に821万円、レントゲン画像処理ユニット等の医療機器更新に184万円を計上しました。また国保直営診療施設基金に平成25年度から4年連続で1,000万円の積立を計上しました。

引続き複数の医師による診療を行い医療の充実を図ります。

**３　有線放送事業特別会計**

歳入・歳出予算総額は、音声告知放送センター装置の老朽化に伴う更新工事が終了したため、前年度比3,000万円(57.7％)減の2,200万円としました。

歳入は、農協施設維持負担金が前年度と同額の500万円、一般会計繰入金835万円を計上しました。

歳出は、サラダチャンネルの放送に必要な行政チャンネルデジタル放送基幹施設リース料として878万円を計上しました。

平成28年度は、行政チャンネルデジタル放送基幹施設のリースが切れるため、サラダチャンネルの継続について検討を行ないます。

**４　農業者労働災害共済事業特別会計**

　歳入・歳出予算総額は前年度と同額の120万円としました。

　共済見舞金について前年度並の94万円を見込み、この財源として農労災共済掛金・財産運用収入・繰越金等により調整しました。

**５　後期高齢者医療特別会計**

　歳入・歳出予算総額は前年度比350万円(4.5％)増の8,100万円としました。

歳入は、保険料5,726万円、一般会計繰入金2,353万円です。

後期高齢者医療制度の運営は長野県後期高齢者医療広域連合が行っており、村では被保険者証や資格証明に関すること、医療給付に関すること等の受付事務や保険料の徴収事務を行い、広域連合に対して保険料等負担金7,785万円を納付します。

**６　水道事業会計**

予算総額は、収益的収入は対前年度3,400万円(22.2％)増の1億8,747万円、収益的支出は対前年度1,071万円(7.2％)増の1億5,867万円、資本的収入は下水道事業からの償還金で対前年度と同額の2,400万円、資本的支出は工事請負費の減額により対前年度5,007万円(43.0％)減の6,647万円としました。

　主な事業は、経営の効率化・健全化の取り組みのための｢経営戦略｣策定に324万円、水道施設監視装置更新に2,840万円、原山地区配水管布設工事に2,400万円、給水配管管理システム更新に139万円です。

**７　下水道事業会計**

 予算総額は、収益的収入は前年度並2万円減の3億7,635万円、収益的支出は3万円増の2億3,751万円、資本的収入は企業債等の借入が950万円、資本的支出は3,875万円(16.4％)増の2億7,439万円としました。

歳入では、諏訪湖流域下水道負担金が上がるため、使用料の改定を予定します。

主な事業は、下水道事業計画変更認可申請書作成委託897万円、経営の効率化・健全化の取り組みのための｢経営戦略｣策定324万円、流域下水道建設負担金1,021万円、下水道施設監視装置更新に3,661万円、企業債元金償還金1億9,931万円、企業債利息償還金3,381万円、水道事業会計への長期借入元利償還金2,458万円です。